

よかところ通信

2012年4月号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: o2farm@aso.ne.jp
O2FarmWeb : <http://www.o2farm.net>

春爛漫。皆さま、お花見には行かれたでしょうか。我が家は、毎年桜の季節になると忙しくなるので、なかなかゆっくりお花見に行けないのが常。でも、気持ちのゆとりまでなくしてしまっはいけない！ということで、お天気のいい満開の時期（つまり最高の仕事日和）に、思い切って家族でお花見に出かけました。お昼ごはんを挟んだほんの2時間ほどでしたが、おおいにリフレッシュできました。



さて、今月の作業報告です。毎年、この時期はやるが多岐に渡るので、整理してお伝えするのに一苦労しています。田植えまでは田んぼの準備と苗の準備が同時進行。田んぼでは、周囲の雑草を切ったり焼いたりした後、田んぼに水がうまく来るよう水路を整備。

冬の間作った堆肥と肥料をまいて土を起こす。それから畦塗り。畦ができると田んぼに水を溜めることができるようになるので、4月後半からは代掻き（しろかき）と呼ばれる作業に入ります。苗の準備は、良いタネを選び、それを水に漬ける。育苗用の箱に土をつめ、種まき！この他にも、育苗に使うビニールハウスを片付けたり、野焼き作業があったり、菜園のタカナをとってジャガイモを植えたり…。猫の手も借りたい、という表現はこんな時に使うのでしょうか。うちには猫の代わりに息子の手があるわけですが。そんなわけで、子供たちを交えた一連の作業を写真でご紹介します。概ねご紹介した順番です。



その子供たち。おかげさまで上の双子が1年生になりました。新入生はなんと4人！入学式の点呼があったという間に終わり、思わず吹き出しそうになりました。全校生徒は33人。この人数に対して8人もの先生方がいらっしゃるの、落ちこぼれようがない！？先日、さっそく授業参観があったのですが、子供の横に親が座れるなんて始めて聞きました。「参観」ではなく「参加」だね、と耕太。うちとしては貴重な働き手を失いましたが、今のところ楽しんで学校に行っているようです。来年の入学予定者は3人。このままだと来年は1&2年生も複式学級になってしまうようで、来年小学生になる移住者を大募集中です！



「野焼き」について、もう少しご紹介したいと思います。阿蘇には日本で一番広い面積の草原があり、1000年以上の昔から放牧地や採草地として利用され、守られてきています。美しいだけでなく、草原でしか見られない動植物がたくさん。そんな大切な草原ですが、農家の高齢化や後継者不足のために面積が減り続けていました。野焼きは火を入れる事によって草原を管理する作業。とても危険な作業で、お年寄りばかりの集落の中には野焼きができなくなってきたところが増えてきました。そこで、13年ほど前から「野焼きボランティア」という取り組みがはじまり、都会から毎年多くの方が野焼きの支援に来て下さっています。ところが今年、野焼きボランティアの方が全身やけどを負って亡くなられてしまいました。野焼きが命がけの作業だと言うことを改めて認識させられました。たいへん悲しい出来事ですが、そのことで野焼きボランティアの取り組みが失速しないことを祈るばかりです。私が就農当時から携わっているNPO法人でも、草原を守るための取り組みを続けています。草の使い道を増やすことで草原を守りたい、ということで、草で家を作ってみたり、草で発電してみたり、草で紙を漉いたりしています。もしよろしければ、草で漉いた紙で名刺を作ってみませんか？どうぞよろしくお願いいたします。



竹炭焼きもしました。草原と同じく、竹林もまた手入れをしないと維持されません。でも、ただ「守る」ためでは長続きしないので、草も竹も使わないと！というわけで、去年から地域のおじ様たちに習いながら竹炭にチャレンジしているのですが・・・これがなかなかうまくいかない。煙突から出てくる煙の温度を測りながら、教えられたとおりにやったつもりなのですが、去年に引き続き「竹の燻製」ができあがってしまいました。こういう伝統的な技は、地域内に先生方がいるうちに引き継いでおきたいものです。

春休みには、またたくさんの方々に来ていただきました。「猫の手」になって頂けることもさることながら、こうして訪れて頂く事でたくさんの元気をもらっています。農作業は地道で孤独な作業が多いのですが、お客さんが来ることで、何のためにそんな作業をしているかに気づかせてもらえるからです。これからも多くの方に来て頂けるのを楽しみにしています。来月の通信では田植えのご報告ができるはず。皆さまどうぞお元気で！